

## 令和2年度 学校評議員による「学校関係者評価」

## 1 学校評価について

回答 A：はい B：どちらかというとはい C：どちらかというといいえ D：いいえ

	内 容	A	B	C	D	なし
1	学校教育目標・重点目標は適切であると思う。	6				
2	評価項目・評価の観点は適切であると思う。	5	1			
3	各項目についての取り組み状況はよいと思う。	3	3			
4	「学校評価」のための資料はわかりやすく作られていると思う。	5	1			
5	評価の仕方は適切であると思う。	5	1			

※学校評議員6名からの回答

## 1 「学校評価」に対する意見

- 教育目標・重点目標ともに適切であり、教育活動・学校運営の評価観点もよく、評価の厳しさや取り組みの熱意も伝わってくる内容と思います。
- コロナ禍で交流や連携、総合的な学習、部活、進路指導など制限され、厳しい環境の中での対応は大変なことですが、反省や意見を踏まえ更に進進して頂きたい。
- 家庭と連絡、連携を取り学習の遅れが出ないように努めたことわかりました。
- 教職員間の意識がより統一されるよう工夫をお願いしたい。
- 家庭との連携がA評価で家庭と学校、生徒と先生の信頼関係が築かれている。
- コロナ禍で、先生方自身評価しづらい面とともに見えてきた課題もあると思う。次年度にぜひ生かしてほしい。

## 2 学校の教育活動全般に対する意見等

- 「蓼高コンソーシアム」形成の方向は地域社会に根付き貢献できる人材を育成する展望として良策である。町内連携から出身中学校地域を対象としたい。12月の「高校内企業説明会、社会人講座に学ぶ」は、町内外の事業所や他校生も参加し、素晴らしい企画だった。続けてほしい。本校が実施する様々な講座は、人を育て心を成長させるのに大きな力となる貴重な機会である。人と人との交流や心の温かさを学ぶことは非常に重要なことと思います。
- クラス数減になり、適切なコースづくりができたか不安が今後に残ります。
- 蓼高の良さは「生徒ひとりひとりを大切に作る学校」です。
- コロナ禍で資料の作成、消毒、生活の気づかい等業務が増え、複雑化している。全体の“効率化”、“システム化”により残業の削減に気を配る必要がある。
- 創立120周年記念、ご協力よろしく申し上げます。
- フォトニュースが立派で毎回楽しみにしております。町内回覧により、住民として蓼科高校の様子がわかり、身近に感ずる事ができます。
- コロナ禍の中で、貴校の特色ある活動、蓼科学等、活動しにくいこともあったと思います。来年度は、年間を通して行えることを願っています。そんな中で、小中高の子供たちとの交流もできるとよいと思います。高校生に小学校に来ていただき、蓼科学で学んだことを発表していただける機会ももてたらうれしく思います。
- あいさつに関して、すばらしい。出会うと自然にあいさつしてくれる高校生に感動しています。
- 学校教育活動の様々な面で、さらに中高の連携が深まっていくことを願っています。